

小学校

教科【算数】

単元【比べ方を考えよう（1）】

主体的・対話的で  
深い学びのポイント

学級全員の考えをリアルタイムで共有することにより、自力追究と学び合いが切れ目なく展開され、課題解決に向けた思考力・判断力・表現力等をより一層高めることができる。

ICT活用のポイント

個々の児童が考えを記述したJamboardを共有することにより、互いの考えを参考にしたり、比較したりすることができ、思考力・判断力・表現力を高めることができる。

使用する  
ICT機器

タブレット、モニター等

使用するアプリ・  
クラウドサービス等Google Workspace (Classroom、スライド、  
Jamboard、フォーム、ドライブ)クラウド  
の活用
教材の配布・回収等  
生徒の学習状況の把握  
資料等の共有  
その他( )
本時の  
ねらい

速さと道のりから時間を求める方法について考え、図や式を用いて説明することができる。【思考・判断・表現】

主な学習活動  
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 前時の学習を振り返る
- 本時の問題を確認する
- 本時の課題を確認する

一斉



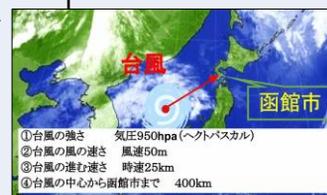
- ・前時の振り返りのテキストデータから、テキストマイニングした画面を提示し、前時の学習内容を振り返る。
- ・Google Classroomで本時の問題を提示する。「400kmはなれた所にある時速25kmの台風が上陸するのは何時間後ですか。」
- ・Google Classroomで本時の課題を提示する。「(速さと道のりから)時間を求める方法を考え、説明しよう。」

クラウド

ICT機器

指針3

指針1



- 自力追究に取り組む

個別

協働

- 考えを発表し交流する

一斉

- 学習のまとめをする

一斉

- 練習問題に取り組む

個別

- ・Jamboardに自分の考えを書き込む。
- ・必要に応じて友だちの考えを参考にしたり、比べたりする。
- ・考え方をモニターに表示し、説明や意見交流を行う。
- ・Classroomで本時のまとめを提示する。「時間は、道のり÷速さで求めることができる。」「数直線や道のりを求める公式を使えば、時間を求める式を立てることができる。」「11歳のやまとくんが外出します。家から図書館までの道のりは2600mです。やまとくんが分速65mで歩いて図書館に向かうとき、図書館に着くまでにかかる時間は何分ですか。」

指針2

ここで評価

【思】道のりを求める公式を基にして、時間の求め方を図や式を用いて考え、説明している。

終末

- 振り返りを行う

個別

- ・フォームを用いて本時の振り返りを行う。

クラウド